

日頃より国立山口徳地青少年自然の家をご利用いただき、誠にありがとうございます。

近年、全国的にクマの目撃情報に関する報道がなされており、ここ山口徳地青少年自然の家においても、その対策について数多くご質問をいただいております。以下に本所の対策をご紹介します。

○対策

【人の存在のアピール】

活動場所にはラジオを設置し、24 時間音声や音楽が流れるようにしています。また、希望される利用者にはクマ鈴の貸出を行ったり、必要に応じて爆竹をならしたりするなどして、音で人の存在をアピールしています。

入所オリエンテーションでは、複数名で会話をしながら移動していただくことの必要性を説明し、利用者の皆様にもご協力いただいております。

これらの取組により、人の存在を音でアピールし、野生動物が近付きにくいようにしています。

【定期的な活動場所の巡回】

毎日、朝・夕には警備員が敷地内を巡回し、異常の有無を確認しています。また、活動前には指導に当たる職員が活動場所を点検し、安全な活動ができるように努めています。

【誘引物質の管理】

当施設では、野外炊事後の流し台清掃や生ごみ処理の確認を徹底して行っています。また、当施設でご購入いただいた食材の残菜等は、食堂棟に設置されたごみ箱に出していただくことができます。

野生動物を呼び寄せる要因となる生ごみなどの処理を徹底することで、野生動物が近付きにくいよう取り組んでいます。

【活動場所の整備】

野生動物だけでなく、マダニ等による健康被害等も防止するため、活動場所や通路、宿泊棟周辺の草刈りを定期的実施し、見通しが良く、安全な活動場所の整備に努めております。

【施設周辺においてクマの目撃情報があった場合】

利用者がいる場合は、団体代表者に速やかに情報提供をし、職員が安全な場所に誘導いたします。同時に警察、市関係各課に連絡し、対応を要請します。

○最後に

自然の中で活動するということは、その自然に暮らす生き物たちへの理解を深めることでもあります。クマをはじめとする野生動物の習性を理解し、適切な距離を保ちながら自然を利用することは、私たちの安全にも、野生動物の命を守ることにもつながります。当施設では、LNT（Leave No Trace）の考え方のもと、人も野生動物も安心して自然とかわるることができる環境づくりに努めています。自然を利用する一人ひとりが自然への敬意を持ち、その恵みを未来へつないでいけるよう、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

LNT（Leave No Trace）の詳細については Leave No Trace Japan HP (<https://lntj.jp/>) をご覧ください。

県内・市内のクマに関する最新情報は、山口県庁自然保護課及び山口市農業振興課のホームページをご覧ください。

山口県庁 自然保護課 HP (<https://www.pref.yamaguchi.lg.jp/soshiki/41/>)

山口市農業振興課 HP (<https://www.city.yamaguchi.lg.jp/soshiki/64/184945.html>)